

「第3期宇治市人口ビジョン・宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略（初案）」に対する意見募集結果

「第3期宇治市人口ビジョン・宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略（初案）」への意見募集結果について、下記のとおり報告いたします。

1. 意見募集期間

令和6年11月20日（水曜日）から令和6年12月20日（金曜日）まで

2. 意見提出者数 16人

提出区分	人数
①窓口へ持参	2人
②郵送	0人
③ファクシミリ	3人
④電子メール	1人
⑤市民の声投書箱	5人
⑥インターネット	5人

3. 意見数 82件

意見区分	件数
① 宇治市人口ビジョンについて	6件
② 宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略について	73件
全体	4件
基本的な考え方	3件
（1）新たな時代の宇治ブランドの向上	19件
（2）希望をかなえる子育て・子育てにやさしいまちづくり	21件
（3）住み続けたい「ふるさと宇治」の創生	9件
（4）活力あふれる産業振興と多様な働く場の創出	4件
（5）未来を拓く都市基盤の整備	13件
③ その他	3件

4. 意見等の内容とそれに対する宇治市の考え方 別紙のとおり

第3期宇治市人口ビジョン・宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略（初案）に対するパブリックコメント結果

人口ビジョンに関するご意見

No.	意見の内容	宇治市の回答、考え方	関連箇所	修正
1	ウ. 地区別の傾向 転出超過及び転入超過の地区名の順番が数値の順序と異なっているが、何か理由があるのか。	宇治市の統計資料等と合わせ、大字順としています。	1.2 人口動向分析 (2) 人口増減の状況	無
2	財政状況への影響 「・・・、介護や医療が必要な状態になりにくい環境づくり・・・」を「・・・、介護や医療が最小限となるような環境づくり・・・」に修文する。	ご意見を踏まえ、よりわかりやすい記載とするため、「高齢者が自らの健康を意識し、介護予防・健康づくりに取り組める環境づくりを進めていく必要がある。」と修正します。	1.3 将来人口推計 (1) 人口動向の総括と将来的な地域への影響	有
3	第2期宇治市人口ビジョン策定以降の人口動態 「・・・地方創生の取組の効果が一定、現れているものと・・・」を「・・・地方創生の取組の効果が一定程度、現れているものと・・・」に修文する。	ご意見を踏まえ、よりわかりやすい記載とするため、「地方創生の取組により、一定の効果が表れている」と修正します。	1.3 将来人口推計 (2) 第3期宇治市人口ビジョンの方向性	有
4	表 1.3-1 「・・・、2040年（令和22年）以降、人口水準を維持・・・」と記載されているが、「・・・、2040年（令和22年）以降の人口水準を維持・・・」に修文する。	ご意見を踏まえ、よりわかりやすい記載とするため、「本市においても、長期的に人口を維持するため、2040年（令和22年）以降、合計特殊出生率を2.07とすることを目標とする。」と修正します。	1.3 将来人口推計 (2) 第3期宇治市人口ビジョンの方向性	有
5	表 1.3-2 「社会移動」と記載されているが、「社会増減」で統一する。	転入や転出による人の移動について「社会移動」、その結果の数値（転入者数と転出者数の差）について「社会増減」と表しています。	1.3 将来人口推計 (3) 第3期宇治市人口ビジョンの将来展望	無
6	表 1.3-3 (参考)として住民基本台帳を基にした推計人口が記載されているが、推計の根拠とする人口、合計特殊出生率及び社会増減の値を追記する。	「(参考)住民基本台帳を基にした推計人口」は2020年（令和2年）の住民基本台帳人口をもとに第3期人口ビジョンと同様の仮定条件で推計したものです。 ご意見を踏まえ、よりわかりやすい記載とするため、上記の説明を追記します。	1.3 将来人口推計 (3) 第3期宇治市人口ビジョンの将来展望	有

まち・ひと・しごと創生総合戦略全体に関するご意見

No.	意見の内容	宇治市の回答、考え方	関連箇所	修正
7	和暦は書かなくていい。	本戦略においては、より多くの方々にわかりやすくお伝えするために和暦・西暦を併記しています。	全般	無
8	○印を付して記載されているが、今回の戦略策定に合わせて開始する新たな取組に「新規」等と記載する。 目標値や重要業績評価指標も同様に記載する。	第2期創生総合戦略においては事業名を列記するとともに新規・拡充・継続などを記載をしていましたが、第3期においては取組内容のわかりやすさを優先し、「主な取組」と記載を変更しています。 新規・拡充の取組については、毎年度実施する効果検証の際にご報告する予定です。	全般	無
9	税金の無駄遣いと思われる事業計画等の削除。 観光客目当てでない市民への投資。例えば小中一貫校で空校舎となった建物を公営の老人ホームに改築し入居料金を定額にする。	本市では効果的・効率的な事業の実施に向け、各事業計画を定めています。また、それぞれの計画についてPDCAマネジメントサイクルを活用し、成果指標等に基づき事業の効果や必要性・効率性などを評価しながら、より効果的な事業となるよう、継続的に改善・見直しを行っているところです。 具体的な事業のご提案については、今後の取組の参考とさせていただきます。	全般	無
10	住みやすい町づくりー保育所の増設、民間経営でなく効率経営で保育料の値下げ、職員の増員、少人数学級及び教職員の増員を図ること、高齢社会にやさしい交通網の整備、デマンドタクシー等を早期実現すること、空家利用の補助及び移住者へ補助金を出し引越費用等も援助する	本戦略においては、地方創生の実現・推進に向け、ご意見をいただいた内容も含め、各基本目標ごとに施策を位置づけているところです。 具体的な事業のご提案については、今後の取組の参考とさせていただきます。	全般	無

まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本的な考え方に関するご意見

No.	意見の内容	宇治市の回答、考え方	関連箇所	修正
11	目的の最後の部分は「持続的に発展するまちを目指す」は表現としていかにも軽い。ここは「持続的に発展する宇治市の実現を目指す」とした方がよい。	戦略の目的については第1期から継続して「持続的に発展するまちを目指す」としており、第3期においても同様の表現とします。	2.1 基本的な考え方 (1) 戦略の目的	無
12	戦略の構成 イメージ図が掲載されているのみなので、説明文を追記する。	ご意見を踏まえ、よりわかりやすい記載とするため、図の前段に説明を追記します。	2.1 基本的な考え方 (3) 戦略の構成	有

13	(4) 第 2 期創生総合戦略の中間総括 項立てとして、p24の「2.1 基本的な考え方」の前に移動して、第2期と第3期を分ける。	宇治市創生総合戦略において第1期から共通する目的や位置付けなどをお示ししたのち、現行の第2期創生総合戦略の中間総括や国の動きなどを踏まえ、第3期の策定につなげていく意図で現在の構成としています。	2.1 基本的な考え方 (4) 第2期創生総合戦略の 中間総括	無
----	--	---	---------------------------------------	---

基本目標1『新たな時代の宇治ブランドの向上』に関するご意見

No.	意見の内容	宇治市の回答、考え方	関連箇所	修正
14	基本目標1は抽象的な表現の繰り返しで意味が分かりにくい。観光振興のことをいうのであれば、新たな時代というありきたりの表現はやめ、ズバリ「観光振興による宇治ブランドへさらなる魅力向上」とする方がよい。さらなるはすでにブランド価値は高まっているとの認識と自負に立脚している表現。そしてこの基本目標は1でなく3番目とする。	POSTコロナ時代においても、伝統的な観光資源の活用や新たな観光資源の創出により「宇治ブランド」を高めるという考えから、『新たな時代の宇治ブランドの向上』としています。また、本市の多様な魅力を市内外に発信することで本市を知っていただくことが、転入者を増加させ、人口減少に歯止めをかけるための第一歩であるという考え方から基本目標1に位置づけています。	基本目標1『新たな時代の宇治ブランドの向上』	無
15	まず全体を読んで感じたのは、基本目標の一番目に「宇治ブランドの向上」がくるかなあ？という疑問です。「観光客をはじめとする交流人口の増加を図る」よりも、今市内に住んでいる人の満足度・幸福度を上げることを第一にするべきではないか？と思いました。	本戦略においては、地方創生の観点から、5つの基本目標を設定し、持続的に発展するまちを目指しています。本市の多様な魅力を市内外に発信することで本市を知っていただくことが、転入者を増加させ、人口減少に歯止めをかけるための第一歩であるという考え方から基本目標1に位置づけています。	基本目標1『新たな時代の宇治ブランドの向上』	無
16	基本目標①に関して。観光、開発よりも、まず市民の暮らしをさい優先市政を進めてほしいと思います。		基本目標1『新たな時代の宇治ブランドの向上』	無
17	基本的方向はまず、「観光振興は宇治市の主要産業である観光業を活性化させ、観光関連業界だけでなく宇治市全体を経済的に潤す。また、宇治市独自のアイデンティティを確立することで、宇治市に暮らす市民の誇りと宇治市に住みたい憧れの気持ちを醸成する」とまず述べて、以下第一センテンスの『「宇治茶」「源氏物語」をはじめとした…』としてはどうか。	本戦略においては、地方創生の観点から、本市の多様な魅力を発信することにより、転入者の増加につなげることを目的としています。	基本目標1『新たな時代の宇治ブランドの向上』 基本的方向	無

No.	意見の内容	宇治市の回答、考え方	関連箇所	修正
18	観光面ではこれまで高齢者層に好まれるコンテンツのみだったのが、黄檗のベーカリーが話題になったり、カフェが増えたり、京アニ関連やニンテンドーミュージアムでサブカル方面も充実してきており若年層にも来てもらえる環境になってきたかと思います。	これまでの歴史や文化などの伝統的な観光資源も活用しながら、宇治にまつわるコンテンツを通じた新しい魅力についても発信することにより、本市への興味・関心につなげていきたいと考えています。	基本目標1『新たな時代の宇治ブランドの向上』 基本的方向	無
19	宇治市全体を見て新たな観光資源の創出には無理があると思う。天ヶ瀬ダムが魅力的な観光エリアになると思えないし、ニンテンドーミュージアムもキャパ的に多くの人を呼び込めないし、スマートフォンを使った体験型ゲームもどういいのかわからない。川下りイベント20回に増やしてどれだけの人が増えるのか。それよりも今の景色や宇治茶を守ることに力を入れた方がいいと思う。宇治駅前のトイレ増設や宇治橋通りの車の規制などの方が観光客には喜ばれるのではないか。	景観の保護や宇治茶の継承、安心して快適に観光できる環境整備についても併せて推進していく必要があると考えており、基本目標1②豊富な観光資源の魅力の再発見、④観光客の受入環境整備、基本目標5③文化遺産・景観の保護においてそれぞれ記載しています。 また、歴史や文化、景観など魅力ある地域資源を活かした取組として「デジタルの力を活用した取組」において、平安時代のまち並みを体験できる「再現ARを活用した宇治の歴史文化体験」の取組を記載します。	基本目標1『新たな時代の宇治ブランドの向上』 ③新たな観光資源の創出	有
20	基本目標1の具体的な施策について、より具体的な私案を示したい。まず①では「市民のホスピタリティを高める」ことを提案したい。基本方向で述べたように観光振興は市民全体の物心両面の利益につながる。ここでは、市民対象の宇治観光講座の開催、宇治観光検定の創設、宇治観光市民憲章の創造、市民観光ボランティアガイドの養成などを挙げたい。	ご提案いただいた「市民のホスピタリティを高める」取組については、第2期宇治市観光振興計画の中でも「おもてなしのまちづくり」として様々な取組を進めているところです。 本戦略においても、取組内容については毎年度実施する推進会議において効果検証を行うとともに、宇治市ホームページにおいて公開します。	基本目標1『新たな時代の宇治ブランドの向上』 ①多様な主体と連携した魅力発信	無
21	姉妹都市との連携強化 観光との連携を図る。	本市では、又ワラエリヤ市、咸陽市、カムループス市の3市と友好都市の盟約を結んでおり、市民間の国際交流の発展に向け、訪問団の派遣等をはじめとする取組を実施しています。 ご意見をいただいた観光との連携については、今後の取組を検討する際の参考とさせていただきます。	基本目標1『新たな時代の宇治ブランドの向上』 ①多様な主体と連携した魅力発信	無
22	SNS情報発信件数と宇治フィルムコミッション情報発信件数は何が違うのか。同じような目標をいくつも設定する必要はないと思う。	SNS情報発信件数については宇治市公式LINEやInstagramなどでの情報発信数、宇治フィルムコミッションではX（旧Twitter）において宇治市で行われたロケや取材の情報発信件数などをカウントしています。 どちらもSNSで宇治市の情報を発信するという点では同様であるため、ご意見を踏まえ、指標を修正します。	基本目標1『新たな時代の宇治ブランドの向上』 ①多様な主体と連携した魅力発信	有

No.	意見の内容	宇治市の回答、考え方	関連箇所	修正
23	「・・・常設展示のリニューアルを検討」と記載されているが、何故、検討と一段階取組が後退しているのか。他にも同様の記載も	源氏物語ミュージアムのリニューアルなど、これから具体的な内容を決定していくものについては「検討」と記載しています。 今後の取組については毎年度実施する推進会議において効果検証を行うとともに、宇治市ホームページにおいて公開します。	基本目標1『新たな時代の宇治ブランドの向上』 ②豊富な観光資源の魅力の再発見	無
24	「お茶と宇治のまち歴史公園」及び「宇治市植物公園」に係る取組を追加する。文化振興と観光資源としての活用を期待する。	ご意見を踏まえ、お茶と宇治のまち歴史公園「茶づな」について記載を追加するとともに、関連する重要業績評価指標（KPI）についても「市営茶室対鳳庵 入席者数」に限らず、広く効果を測るため、「宇治茶の満足度」に修正します。 また、植物公園での取組については39ページの「公園でつなぐ子育てにやさしいまちづくり」の中で一部記載しています。 各公園における今後の取組については毎年度実施する推進会議において効果検証を行うとともに、宇治市ホームページにおいて公開します。	基本目標1『新たな時代の宇治ブランドの向上』 ②豊富な観光資源の魅力の再発見	有
25	観光分野においては、宿泊客の増加に向けた夜間・早朝の観光コンテンツの強化の視点も必要だと考える。	第2期宇治市観光振興計画の中でも「時間のうつろいを感じられる観光の推進」として、朝から夜まで、その時間ならではの宇治の魅力を感じていただけるよう取組を進めているところであります。 ご意見を踏まえ、取組の記載について修正します。	基本目標1『新たな時代の宇治ブランドの向上』 ②豊富な観光資源の魅力の再発見	有
26	ポスト「光る君へ」 例えば、源氏物語ミュージアムにおいて、源氏物語の各章を紹介するミニ展示会の開催 文化振興と観光との連携を図る。	源氏物語ミュージアムにおける展示、講座については、「源氏物語のまちづくり」に記載しております。 今後の取組については毎年度実施する推進会議において効果検証を行うとともに、宇治市ホームページにおいて公開します。	基本目標1『新たな時代の宇治ブランドの向上』 ②豊富な観光資源の魅力の再発見	無
27	②で魅力再発見のトップに挙げたいのが、萬福寺。大雄宝殿など三棟が国宝指定されたのを機に大いにPRすべきだ。また、天ヶ瀬ダムもまだまだ観光開発の余地がある。左岸の遊歩道沿いには不動の滝も整備された。吊り橋とともに宇治市の自然景観を楽しみながらの散策にはもってこいだ。	市内の歴史遺産との連携については、第2期宇治市観光振興計画の中でも「社寺等の歴史資源との連携」として、これまでから取組を進めてきたところです。 また、天ヶ瀬ダム周辺の整備については③新たな観光資源の創出の中で記載しています。	基本目標1『新たな時代の宇治ブランドの向上』 ②豊富な観光資源の魅力の再発見 ③新たな観光資源の創出	無

No.	意見の内容	宇治市の回答、考え方	関連箇所	修正
28	体験型川下り等のイベント開催回数(累計)の「累計」とは、どういう単位での累計なのかを追記する。 累計とは、計画期間中の累計(合計)を意味するとするならば、「(累計)」の記載箇所を指標欄から目標値欄に移動させる。 他にも同様の記載も	ご意見を踏まえ、「体験型川下り等のイベント開催回数」を含め、指標全体についてよりわかりやすくなるよう記載を修正します。 なお、計画期間中など一定の期間中の数値を示す場合は数値の下にかっこ書きで対象の期間を記載しています。	基本目標1『新たな時代の宇治ブランドの向上』 ③新たな観光資源の創出	有
29	基本目標1の③新たな観光資源の創出で天ヶ瀬ダム周辺周遊観光整備は不要だと思います。資料『定住・転入・転出に関するアンケート調査結果報告書』のこれからのまちづくりについての回答で「力を入れてほしい・できれば力を入れてほしい」の合計で2番目に高かったのは「災害に強いまちづくり」です。ダムは国の管轄だから…ではなく、観光ではなく防災の視点でダム周辺の整備をするべきだと思います。	防災・減災に向けた取組については地方創生に効果的な取組を進めるにあたっての土台となるものと考えており、本市のまちづくりの最上位計画である宇治市第6次総合計画に基づき、「安全・安心に住み続けられるまち」に向けた施策を推進していきます。	基本目標1『新たな時代の宇治ブランドの向上』 ③新たな観光資源の創出	無
30	③の新たな観光資源の創出には、宇治市の地名の由来ともなった菟道稚郎子の再評価を提案したい。世界文化遺産の宇治上神社の祭神でもあり、臺は公開が難しくてもキャラクターとして大いに使い出があると思う。	具体的なご提案については今後の取組の参考とさせていただきます。	基本目標1『新たな時代の宇治ブランドの向上』 ③新たな観光資源の創出	無
31	観光のなかで新たな観光拠点として小倉地区にニンテンドーミュージアムが出来た。けれども、予約制で地域への波及効果も限定的で宇治の観光の中心地とは少し距離があって連携が必ずしもうまく行っていない。そこで提案。ミュージアム内に宇治の観光の中心地への誘客を進めるコーナーを作ってもらおう。併せて入れ替え客を送迎するバスを京都京阪バスの協力で運行する。京阪バスはミュージアムを当て込んだ新路線を作ったが、大久保駅行きを延長しただけのもので当てが外れているはず。この際「ニンテンドーミュージアム前」というバス停を新設してもよい。	ニンテンドーミュージアムの開館を契機として、小倉エリアを訪れる方を市内全体に広げていくことが重要だと考えており、観光ガイドの作成や、京都宇治観光デジタルマップのリニューアルなど、市内の周遊観光を活性化するための取組を進めています。 なお、バスの運行につきましては、令和6年7月21日からニンテンドーミュージアムを経由し京阪宇治駅と近鉄小倉駅間を結ぶ実証運行を開始されているところです。	基本目標1『新たな時代の宇治ブランドの向上』 ③新たな観光資源の創出	無

No.	意見の内容	宇治市の回答、考え方	関連箇所	修正
32	④観光客の受入環境整備で思い出したのはJR宇治駅前のトイレ撤去は失敗だったなあということです。安全で気持ちよく利用できるトイレの維持は費用もかかりますが何よりの観光基盤になるのではないのでしょうか？	J R宇治駅前の公衆トイレについては駅前の景観や横断歩道前の歩行者滞留スペースを確保するために撤去した経過があり、現在はゆめりあうじのトイレを利用いただくようご案内しているところです。 引き続き、訪れた方が安心して快適に観光できる環境整備を進めます。	基本目標1『新たな時代の宇治ブランドの向上』 ④観光客の受入環境整備	無

基本目標2『希望をかなえる子育て・子育てにやさしいまちづくり』に関するご意見

No.	意見の内容	宇治市の回答、考え方	関連箇所	修正
33	基本目標2の方向性には全面的に賛成する。これが実現できれば宇治市の未来は明るい。その実施のために具体的な施策が重要。宇治市は積極的な子ども・子育て支援制度を実施しているが、それが子育て世代の宇治市への移住定住につながるには京都市をはじめとする近隣都市との差別化が必要。医療費や給食費の負担軽減を他都市に先駆けて実施し、都市間競争を勝ち抜きたい。横並びではだめだ。これを基本目標1に格上げする。	本市では、子育てにやさしいまちの実現に向け、結婚から妊娠・出産・子育ての切れ目のないきめ細やかな支援を実施しています。他自治体の取組状況も踏まえながら、宇治市としての取組を検討していきます。 また、基本目標の記載順については、地方創生の観点やこれまでの本市での取組状況などを踏まえて定めています。	基本目標2『希望をかなえる子育て・子育てにやさしいまちづくり』	無
34	子育て支援などの満足度の目標が低い。	ご指摘の数値目標については「宇治市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」の数値に基づき設定しています。 令和元年と令和6年の結果を比較すると減少傾向にあり、令和元年時点の数値を目標として設定しています。 今後の達成状況に応じて見直しを図ります。	基本目標2『希望をかなえる子育て・子育てにやさしいまちづくり』 数値目標	無
35	「20歳代後半から30歳代前半の就業率」の目標値欄が「令和7年」と記載されているが何故か。令和11年の目標値は不要なのか。	ご指摘の指標については国勢調査の数値に基づき設定しているため、国勢調査が実施される年次に合わせ、目標値を設定しています。	基本目標2『希望をかなえる子育て・子育てにやさしいまちづくり』 ①若い世代の就労支援	無
36	「会社説明会の来場者数」の目標値が基準値と同じ値なのは何か。理由を追記する。	産業に関する指標については、宇治市産業戦略と整合を図っており、現行の産業戦略における目標値を達成しているものについては、令和5年度の実績値を維持することを目標として設定しています。今後、産業戦略の更新に応じて見直しを図ります。	基本目標2『希望をかなえる子育て・子育てにやさしいまちづくり』 ①若い世代の就労支援	無

No.	意見の内容	宇治市の回答、考え方	関連箇所	修正
37	「健康管理の充実や母子保健事業の質の向上のため、妊婦健診や乳幼児健診などの母子保健情報のデジタル化を推進」（『第3期宇治市人口ビジョン宇治まち・ひと・しごと創生総合戦略（初案）』p35）は大いに結構であるが、宇治市が過去に住民基本台帳のデータ漏洩の事故を引き起こしていること、また、尼崎市で令和4年6月21日に発生した個人情報の含まれるUSB紛失等に鑑み、情報漏洩防止策を具体的に示されたい。	本市における個人情報の取扱いについては、個人情報保護法や宇治市個人情報保護法施行条例、宇治市情報セキュリティポリシーなどに基づき、適正に管理を行います。	基本目標2『希望をかなえる子育て・子育てにやさしいまちづくり』 ②結婚・出産支援	無
38	具体的な施策①・②のどちらにも関わることですが若い世代の住まいの問題として空家や市営住宅、府営住宅は管轄外とせず（近くにある府教職員小倉共済住宅はガラ空きのように見えます）低家賃で結婚・出産時代をスタートできるように活用を図りたいと思います。	具体的な施策②結婚・出産支援、③子育て環境の充実においてそれぞれ新婚世帯、子育て世帯への空き家や市営住宅も含めた住宅確保支援の取組を記載しています。	基本目標2『希望をかなえる子育て・子育てにやさしいまちづくり』 ②結婚・出産支援 ③子育て環境の充実	無
39	「出会いの機会の創出」（本案p35）であるが、令和2年の女性の未婚・既婚別就労率を見ると、既婚女性の方が未婚女性に比して20歳代における就労率は低いもののその差異は解消されつつあり（令和6年11月『宇治市子どもまんなかプラン（初案）』p21）、以前から少子化問題で言われ続けてきた「仕事か育児か」、「家庭か仕事か」問題は解消されつつあるため、貴案の如き出会いの機会の創出に踏み出すのも一つと考えられ、この点について異論はない。	令和6年に実施した「宇治市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」においても母親・父親ともにフルタイムで就労している割合が増加しており、引き続き、仕事と子育てを両立できる環境づくりを推進する必要があると考えています。	基本目標2『希望をかなえる子育て・子育てにやさしいまちづくり』 ③子育て環境の充実	無
40	学童保育の待機児童解消に向けた取組「市内20校」と記載されているが、全体の校数に対する充足率ほどの程度なのか。	市内の小学校22校のうち20校で開設しています。	基本目標2『希望をかなえる子育て・子育てにやさしいまちづくり』 ③子育て環境の充実	無
41	児童虐待の防止・早期発見に向けた取組「乳児のいる家庭への全戸訪問を実施する」と記載されているので、重要業績評価指標にも追記する。	乳児のいる家庭への全戸訪問を含め、子育て環境の充実に向けて実施する事業の効果検証のため、「子育てをする上で気軽に相談できる人や場所がある（ある）割合」を重要業績評価指標に設定しています。	基本目標2『希望をかなえる子育て・子育てにやさしいまちづくり』 ③子育て環境の充実	無

No.	意見の内容	宇治市の回答、考え方	関連箇所	修正
42	7月に子供を産みました。出産費用は国からの補助金50万円を使っても17万円の支払いが必要でした。またオムツも1ヶ月4000円、ミルクも1ヶ月6000から9000円ほどかかり生活がきついです。夫婦共働き、現在は休業中ですが、育児休業給付金が入ってくるのは産後6ヶ月の来年1月だそうです。それまで無給、新居を建てるため月に15万は家賃とローンで消えていきます。他市町村ではおむつが毎月届くこともあるとか。子を育てる環境もそうですが、産む環境・産んだ後の就労までの環境にも目を向けていただきたく意見書を書きました。もっと若年層の負担がなくなれば、きっと出生率も高まるかなと思います。どうぞよろしくお願いいたします。	本市では、子育てにやさしいまちの実現に向け、結婚から妊娠・出産・子育ての切れ目のないきめ細やかな支援を実施しています。 また、経済的な支援については、子育て支援施設の利用料の補助や住宅確保支援などを実施しているところです。 いただいたご意見を踏まえ、引き続き、希望をかなえる子育て・子育てにやさしいまちの実現に向けた取組を推進します。	基本目標2『希望をかなえる子育て・子育てにやさしいまちづくり』 ③子育て環境の充実	無
43	基本目標2では肝心要のことが抜けていると思いました。親の願いはまずは子どもの健康です。サイフの中身を気にせず子どもに医療を受けさせられるという安心感は何よりだと思います。18歳までの医療費無料化が府内で最後にならないよう、国や府の動向待ちでなく、すぐ取り組んでほしいです。	本市の子育て支援医療制度では、中学卒業までの医療費を実質無償化しており、高校生年齢への拡充については、京都府の医療費助成制度のあり方についての検討状況を注視するとともに、他の自治体の状況や財源等を総合的に判断していきたいと考えています。 引き続き、子どもを安心して産み育てられる環境づくりを積極的に推進していきます。	基本目標2『希望をかなえる子育て・子育てにやさしいまちづくり』 ③子育て環境の充実	無
44	子育て環境の充実では公立幼稚園は廃止（2園を）するべきではなかったと思う。やはり公立でなければできない支援があったはずすべての子どもの育ちを応援するというなら公立で責任を持つべきことは多い。	本市の就学前施設においては、市全体の教育・保育の見込み量、需給調整の状況等を踏まえた適正規模を維持することが必要であると考えています。 ご意見の公立幼稚園については、基本となる教育・保育の実践、そのことによる質の確保・向上推進、公立間の連携のしやすさを生かして小学校との連携がしっかり行えることが利点であると考えており、適正規模を維持し、教育上望ましい集団生活を行える環境を整えることが重要であることから、3園体制を見直し、1園に統合することとしています。	基本目標2『希望をかなえる子育て・子育てにやさしいまちづくり』 ③子育て環境の充実	無

No.	意見の内容	宇治市の回答、考え方	関連箇所	修正
45	総合戦略見るかぎりどこの行政でも掲げている一般的な内容です。具体性がみられません。宇治市は黒字財政となってるのに市民に何の恩恵も感じないほど心寂しい行政です。市長選前松村市長は18才迄の医療費無料化しないと断言された。学校給食無償化これもしない。黒字財政であるのに近隣の他市ができてなぜ宇治ができないのか？まったくおかしい。税金の使い方が市民が豊かに暮らせる、豊かな心を持てる様になっていない。若者が少しでも子育てしやすい市へと移り住む気持ちがわかる。	本市の子育て支援医療制度では、中学卒業までの医療費を実質無償化しており、高校生年齢への拡充については、京都府の医療費助成制度のあり方についての検討状況を注視するとともに、他の自治体の状況や財源等を総合的に判断していきたいと考えています。 給食費については、まずは物価高騰の中にあっても負担をこれ以上増やさないといった観点で取り組んでいるところです。国の学校給食費無償化に関する動向も注視していきたいと考えております。	基本目標2『希望をかなえる子育て・子育てにやさしいまちづくり』 ③子育て環境の充実 ④学校教育の充実と学校環境整備	無
46	基本目標②に関して。将来の宇治をになってくれる子供達のために第1に税金を使ってほしい。そのためには、子供を出産し、子育てしやすい環境整備が必要だと思います。公立保育所、幼稚園整備、充実。学校は子供達が元気に登校したいと思える施策の充実を望みます。今、建設中の西小倉の小中一貫校について第一に強く要望したいのはグラウンドの狭さです。のびのび運動し、遊べる第二グラウンドを確保してほしい。強く望みます。	宇治西小倉学園では屋外の運動スペースとして、メイングラウンド、サブグラウンド、テニスコート、屋外プレイエリアを整備します。加えて屋内運動スペースとして、第1体育館、第2体育館、武道場を整備します。小中学生の体育の授業、部活動については、それらのスペースで実施します。また、学校全体が児童生徒の活動スペースであり、中庭なども活用します。小中一貫校の整備完了後は、学校敷地内で体育の授業や部活動を十分に実施できます。加えて、敷地外のグラウンドの使用は、移動時間による授業やカリキュラムへの影響が避けられないこと等から、第二グラウンドの整備は考えていません。	基本目標2『希望をかなえる子育て・子育てにやさしいまちづくり』 ④学校教育の充実と学校環境整備	無
47	④で、西小倉小中一貫校の整備とありますが、今工事が進められている一貫校には狭いグラウンドしか用意されていません。学校環境整備というならせめてすぐ近くの小学校跡地に第2グラウンドを用意するべきです。今からでも遅くありません。子どもには豊かな学びと同じくらい豊かな遊びが必要です。			
48	豊かな学びを支える施設整備の西小倉地域小中一貫校の整備は第2グラウンドも作らず、給食室（小学生むけ）も作らず豊かな学びと言えるのか。そもそも西小倉の端に3小1中をつめこむ一貫校が子どもたちのためになるのか疑問。	義務教育の貴重な9年間を、学びと育ちの連続性の中で、子どもが育まれていくという小中一貫校の存在意義は大きいものと考えております。 また、開校場所については、地域主体の開校準備協議会における協議内容も踏まえ、敷地面積が最も広い西小倉中学校に決定しました。	基本目標2『希望をかなえる子育て・子育てにやさしいまちづくり』 ④学校教育の充実と学校環境整備	無

No.	意見の内容	宇治市の回答、考え方	関連箇所	修正
49	西小倉地域の小学生にも自校式の給食をお願いします。学校に行く日は給食を楽しみにしていて、よくその話をしてくれま す。	「今後の小学校給食の提供方式の方針」において、今後の小学校給食については、自校調理方式を基本としながらも、将来的な児童生徒数推移、小学校給食室の老朽化状況等を総合的に勘案し、給食センターからの配送方式を導入することとしており、宇治西小倉学園では敷地内スペースの有効活用の観点も持ち、校舎内に配膳室を設け、給食提供方式は給食センターからの配送方式としました。	基本目標2『希望をかなえる子育て・子育てにやさしいまちづくり』 ④学校教育の充実と学校環境整備	無
50	食育は教育の一環です。中学校給食の開始がいよいよとなったのは本当に嬉しいことです。ぜひ給食センターは市直営で、小学校の自校給食に劣らない内容の充実・維持を願います。全国でどんどん給食の無償化がすすんでいるので、宇治市も遅れを取らないで下さい。無償の美味しい給食は、「宇治市で子どもを育てたい！」の原動力になると思います。	給食センターの運営については、現在検討を進めているところですが、これまでの小学校における給食の経験を生かし、小学校の栄養教諭や栄養職員、調理員からの意見を踏まえ、準備を進めています。 給食費については、まずは物価高騰の中にあっても保護者負担をこれ以上増やさないといった観点で取り組んでいるところで、国の学校給食費無償化に関する動向も注視していきたいと考えております。	基本目標2『希望をかなえる子育て・子育てにやさしいまちづくり』 ④学校教育の充実と学校環境整備	無
51	子育てを経済的に支える給食費の無償化をぜひお願いします。	給食費については、まずは物価高騰の中にあっても保護者負担をこれ以上増やさないといった観点で取り組んでいるところで、国の学校給食費無償化に関する動向も注視していきたいと考えております。	基本目標2『希望をかなえる子育て・子育てにやさしいまちづくり』 ④学校教育の充実と学校環境整備	無
52	学校に行けない子ども、しぶる子どもが増えています。以前はふれあい教室に行ってるという子もいましたが、今は選択肢に入っていません。孫も休みがちで家族みんな大変です。人間関係を変えてやる必要性を感じますが、行く場所、避難場所が見つかりません。学校だけでなく行ける場所を作して下さい。	本市では、これまでから宇治市不登校児童生徒自立支援教室（Ujiふれあい教室）の開室や、コーディネーターによる、小・中学校への巡回訪問、支援員による不登校児童生徒宅へのアウトリーチなど児童生徒が社会的に自立できるよう援助・支援を行っています。 学校においては、校内にもう一つの居場所である別室を開室し、きめ細やかな支援を行うため、小学校10校に不登校児童支援員を配置しています。支援員の取組内容や成果について全小・中学校で情報共有することにより、さらに不登校児童・生徒への支援を充実させていきたいと考えています。 また、学校や教委育委員会では不登校に関する相談を受け、保護者や児童生徒に寄り添い、支援が適切に進められるよう努めています。	基本目標2『希望をかなえる子育て・子育てにやさしいまちづくり』 ⑤家庭・学校・地域の連携・協働促進	無

No.	意見の内容	宇治市の回答、考え方	関連箇所	修正
53	平和訪問（広島、長崎、沖縄）を希望する子ども達の負担金2,000円を4倍の8,000円にしたことに残念な思いでいっぱいです。平和訪問団の子ども達への平和の心を育てる影響は大きく、考えなおして下さい。受益者負担なんて言わないで下さい。	小・中学生平和訪問団派遣事業の参加負担金につきましては、必要経費とのバランスを考慮し、他団体の例も参考とする中で見直しを図ったところです。	基本目標2『希望をかなえる子育て・子育てにやさしいまちづくり』 その他	無

基本目標3『住み続けたい「ふるさと宇治」の創生』に関するご意見

No.	意見の内容	宇治市の回答、考え方	関連箇所	修正
54	基本目標3は移住・定住を促進する意味で「住んでみたい、住み続けたい宇治の創生」としてはどうか。基本的方向には余裕があることもあり「宇治市だから出来る、宇治市にしか出来ない施策で都市間競争に勝ち抜き、人口減に歯止めをかける」と書き込んでほしい。具体的な施策としては、移住・定住を促進するための横断的なプロジェクトチームを市役所内に立ち上げ、空き家対策との連動を視野に入れた施策を検討してはどうか。これを基本目標2に格上げする。	本戦略においては、「住んでみたい」と思っていたくための魅力発信などの取組については基本目標1に位置づけています。 また、本市独自の取組を実施することについては基本目標3に限らず、創生総合戦略全体において重要であると考えており、戦略の目的の中で「本市の特色を活かした施策に実施により、持続的に発展するまちを目指すことを目的とする」と記載しています。 基本目標の記載順については、地方創生の観点やこれまでの本市での取組状況などを踏まえて定めています。 具体的な施策についていただいたご意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。	基本目標3『住み続けたい「ふるさと宇治」の創生』 基本目標・基本的方向	無
55	「社会増減数」の目標値が「令和11年で0人」と記載されているが、今回の第3期人口推計においては、「令和7年に社会減が解消する」ものとしているので、それに統一する。	第3期宇治市人口ビジョンにおいては、令和7年以降、社会増減を0人することを目標としています。数値目標では計画期間の最終年である令和11年を目標年度として設定しており、令和11年においても0人を目標値としています。	基本目標3『住み続けたい「ふるさと宇治」の創生』 数値目標	無
56	基本目標③に関して。若い世代も子育てが充実した市政が進められると宇治に住んでよかったと実感できると思います。そのためには子育て中の市民の声を聞く機会をもっとほしいと思います。	本市では「宇治市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」として、0～17歳の子を持つ保護者の方に対し、アンケート調査を実施し、より充実した子育て支援の推進に向けて取り組んでいます。 いただいたご意見も踏まえ、引き続き取組を進めます。	基本目標3『住み続けたい「ふるさと宇治」の創生』 ①地域コミュニティの活性化	無

No.	意見の内容	宇治市の回答、考え方	関連箇所	修正
57	基本目標3で人口流出抑制を図ることが重要とありますが、その通りだと思います。ですが、①地域コミュニティの活性化で、市民協働推進拠点の整備という言葉しかないのはなぜでしょう？今ある公民館や図書館を充実させたり、増やしたりしてほしいです。	①地域コミュニティの活性化においては、市民協働推進拠点の整備や地域の店舗を活用した多様な交流空間の創出のほか、集会所など既存施設の利用促進についても記載しています。 なお、公民館や図書館を含む市内の公共施設については、「市民協働によるこれからの公共施設に向けて～公共施設の将来像～」に基づき、今後更新を図る際には、集約化及び複合・多機能化を進めることとしています。	基本目標3『住み続けたい「ふるさと宇治」の創生』 ①地域コミュニティの活性化	無
58	地域の人々とのつながりや、学習・交流では公民館が大切な役割を果たしていますので、これからも充実して下さい。小さな集会所があることも住み続けたいと思う一つです。	本戦略においては、主体的な地域活動の促進に向け、交流・連携・協働・学習がうまれる市民協働推進拠点の整備や交流空間の創出支援、集会所等の利用促進に取り組むこととしています。	基本目標3『住み続けたい「ふるさと宇治」の創生』 ①地域コミュニティの活性化	無
59	私達高齢者も死ぬまで宇治で健康に暮らしたいと思える施策を望みます。家にとじこもるのではなく、外出して健康づくりのできる施設の充実。	高齢者の皆さんがいつまでも社会とつながりながら、住み慣れた地域で安心して暮らしつづけられるよう『生きがいづくり』『仲間づくり』に役立つ情報を掲載した情報誌を作成しているほか、高齢者が主体となって活躍する「共生の居場所づくり」の支援を実施しています。	基本目標3『住み続けたい「ふるさと宇治」の創生』 ②多様な主体の共生社会づくり	無
60	外国人労働者などに関するものも取り上げるべき。	宇治市にお住まいの外国人の方に向けては、市政情報の多言語化や日本語教室の設置への支援などを実施し、多文化共生を推進しています。 引き続き、国籍などにかかわらず、能力を発揮し、自分らしく充実した生活を送ることができるまちを目指して取組を進めます。	基本目標3『住み続けたい「ふるさと宇治」の創生』 ②多様な主体の共生社会づくり	無
61	③健康づくりの推進で、料理教室をするならぜひ宇治市の美味しい学校給食レシピの普及を。	本市では食育の推進に向け、小学校の親子などを対象とした料理教室など、地域での体験型講座を実施しています。 いただいたご意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。	基本目標3『住み続けたい「ふるさと宇治」の創生』 ③健康づくりの推進	無
62	スポーツを通じた地域の活性化で北小倉小跡地の活用を図るなら現存校舎をリノベーションして3階を防災避難所にもなるよう整備し普段はスポーツ少年団や若者が低料金で合宿できるようにする、とか真夏や真冬でも身体を動かせる室内遊びや運動(ヨガや卓球)スペースにする等考えてほしいです。	北小倉小学校の跡地については「西小倉地域小学校跡地に関する基本的な活用方針」に沿って、より具体的な機能や整備内容などを考えていく中で、市民の皆様のご意見などを伺いながら検討を深め、より効果的かつ有意義な跡地活用の実現を目指すこととしています。 いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	基本目標3『住み続けたい「ふるさと宇治」の創生』 ③健康づくりの推進	無

基本目標4『活力あふれる産業振興と多様な働く場の創出』に関するご意見

No.	意見の内容	宇治市の回答、考え方	関連箇所	修正
63	基本目標4で新たな産業の創出とありますが、ぜひ再生可能エネルギー事業を切り開いてほしいです。これ以上農地を減らさず、エネルギーも農産物も地産地消の力を高める為に農業従事者への支援や介護離職ゼロをめざして福祉施設への宇治市独自の支援策を講じてほしいです。	本市では、宇治市第3次環境保全計画に基づき、太陽光をはじめとした再生可能エネルギーの導入支援等により、地域で電力を生み出し使うことで、エネルギーの地産地消を目指しているところです。 また、具体的施策①市内企業の成長支援、④人材確保と勤労者支援において、持続可能な農業経営や働きやすい環境整備への支援を記載しています。	基本目標4『活力あふれる産業振興と多様な働く場の創出』 基本的方向 ①市内企業の成長支援 ④人材確保と勤労者支援	無
64	宇治市の中小企業への支援 宇治市が発注する工事をどの企業（大・中・小）も入札制度に参加して小企業でも直接工事受注出来るようにする。一般労働者の家庭が潤う方向へ	具体的な施策①において、市内事業者の様々な経営課題やニーズへの対応などへの支援について取組を記載しています。 具体的な事業のご提案については、今後の取組の参考とさせていただきます。	基本目標4『活力あふれる産業振興と多様な働く場の創出』 ①市内企業の成長支援	無
65	地場産業の振興 例えば、炭山の陶芸や朝日焼等と宇治茶振興との連携事業 地場産業の振興と観光との連携を図る。	市内産業の魅力発信や事業者間の連携促進のため、宇治ならではのものづくり体験ツアーや事業者間の交流会などの取組を実施しています。 今後の取組については毎年度実施する推進会議において効果検証を行うとともに、宇治市ホームページにおいて公開します。	基本目標4『活力あふれる産業振興と多様な働く場の創出』 ①市内企業の成長支援 ②事業者間や産学等の交流・連携の強化	無
66	働く先が市外まで出掛けていかなければ十分無い状況が改善されなければ、宇治市は住むのが難しいのではないのでしょうか？ クルマを運転できない・持てない人は特に就労地域が限られます。	定住促進のためには近隣での多様な働く場の創出が重要だと考えており、基本目標4において市域内雇用の創出・拡充の促進や若者の雇用・起業に対する支援などの取組について記載しています。	基本目標4『活力あふれる産業振興と多様な働く場の創出』 ③新たな産業の創出と産業基盤の整備 ④人材確保と勤労者支援	無

基本目標5『未来を拓く都市基盤の整備』に関するご意見

No.	意見の内容	宇治市の回答、考え方	関連箇所	修正
67	基本目標5については、基本的方向はその通りなのだが文章が長いので、中ほどで2分してはどうか。	ご意見を踏まえ、よりわかりやすい記載とするため、修正します。	基本目標5『未来を拓く都市基盤の整備』 基本的方向	有

No.	意見の内容	宇治市の回答、考え方	関連箇所	修正
68	防災・減災に対する取組を追加する。(基本目標5を想定) p32に「○緊急時の観光客への支援 ・緊急時の観光客への避難場所の周知や誘導方法、帰宅困難者 支援に向けた検討」が記載されているのみ。） 防災・減災に対する取組は非常に重要である。	防災・減災に向けた取組については地方創生に効果的な取組を進めるにあたっての土台となるものであると考えており、本市のまちづくりの最上位計画である宇治市第6次総合計画に基づき、「安全・安心に住み続けられるまち」に向けた施策を推進していきます。	基本目標5『未来を拓く都市基盤の整備』 基本的方向	無
69	昼夜人口比率を上げる目標はいらないと思う。宇治市は住む場所で十分。	本市では、通勤や通学、観光など様々な目的で本市を訪れる滞在人口を増加させることが、地域経済の活性化や関係人口、定住人口の増加につながると考えていることから数値目標として設定しています。	基本目標5『未来を拓く都市基盤の整備』 数値目標	無
70	大久保駅の東側一帯に集合住宅、公共施設、商業施設と既存の機能を持った複合高層ビルを建設する。公共施設には宇治の子ども・子育て拠点のほか、コンサートなどができる小ホール、図書館などを整備する。建設費は膨大な金額になるだろうが、それはマンションを分譲して賄う（子育て世代に限定してもよい）。地方自治法との適合性や公有財産の利用に関する制約があるが、民間のノウハウも活用すれば十分実現は可能だ。	近鉄大久保駅付近の地域づくりについては、都市計画マスタープランにおいても、広域的な交通結節点としての立地条件を生かした南の玄関口にふさわしいにぎわいと活力ある都市空間の創出と良好な住宅地の保全と改善を図ることなどを基本方針としております。 具体的なご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。	基本目標5『未来を拓く都市基盤の整備』 具体的な施策全般	無
71	宇治橋辺り、観光地なのになぜ、歩者分離ではないのか。歩行者も車の渋滞も解消されると思いますが検討をお願いします。	宇治橋通りについては、地域の方々とともに歩車共存道路として整備を進めてきたところですが、中宇治地域については、観光地であると同時に古からの地域の方々の生活の場であり、生業の場でもあることから、同地域のみちづくりについては、そういった地域特性やインバウンド等による観光客の増加などのまちの変化等を踏まえ、関係機関と連携を図りながら、検討を進めているところです。 引き続き、市内の交通渋滞対策を含め、未来の宇治の発展につながる都市基盤整備を進めます。	基本目標5『未来を拓く都市基盤の整備』 ①地域の活性化につながる整備	無

No.	意見の内容	宇治市の回答、考え方	関連箇所	修正
72	西小倉、近鉄周辺空き地、本当に寂しいかぎりです。この場所を若者、子供、高齢者が利用できる人々が行きかえる交流の場所へと早くに立地進めてほしい。（他市ではホール、図書館、行政関係作っている） このような場所へ行ける交通手段早くに進めてほしい。	近鉄小倉駅の東側については「まちづくり基本構想」にて、～あつめる～をキーワードに人やサービスを「集める」エリアと位置づけ、商業施設や住居など周辺環境と調和した施設でにぎわいを創出することを機能として設定しており、現在、これら方針に基づき基本計画策定に向けた検討及び鉄道事業者・土地所有者等との関係機関協議を進めているところです。 また、まちづくりと一体となった公共交通ネットワーク充実を図るため、駅周辺のまちづくりと連携した交通結節点機能を検討していきます。	基本目標5『未来を拓く都市基盤の整備』 ①地域の活性化につながる整備 ②移動しやすい交通環境の充実	無
73	路駐が多いですし家に入らなく路側帯にはみ出して駐車されているかたが多いです。黄檗トンネルに向かう途中。木幡南山辺りです。高校も近いですし自転車での通行の妨げになっています。駐禁の取り締まりをもっと強化した方が良いと思います。	路上駐車への対応につきましては、管轄の警察署へご連絡をお願いしているところです。 また、本市では宇治警察署や宇治市消防本部とともに「迷惑駐車追放3色パトロール」を実施し、迷惑駐車両に対して、警告・啓発活動などを実施しています。	基本目標5『未来を拓く都市基盤の整備』 ②移動しやすい交通環境の充実	無
74	市内交通も国の方針でようやく整える方針が出てきたものの、これまでも無くなってしまった路線がいくつかあり、デマンドタクシーなどの実現が待たれる状況です。宇治市は小倉付近を除き坂だらけで、高齢者が困っておられます。	移動しやすい交通環境の充実として、既存公共機関の利用促進や高齢者の買物移動支援を行うとともに、将来の移動手段のあり方について検討を進めているところです。	基本目標5『未来を拓く都市基盤の整備』 ②移動しやすい交通環境の充実	無
75	市民生活の利便性のよい移動しやすい交通で予約制乗り合いタクシーを市で考えて運用してください。			
76	年がいき、年齢がいき外出がしにくくなっています。デマンドタクシーなど安く、気軽に使える公共交通をお願いします。			
77	買物、病院、健康づくり等「動く」ことができる宇治のすみずみまで走る公共交通の充実を強く要望します。			

No.	意見の内容	宇治市の回答、考え方	関連箇所	修正
78	基本目標5で新たな移動ニーズへの対応とあり、初案51ページには「将来の移動手段のあり方検討で公共交通に限らない移動手段を検討」とも記されていましたが、意味が分かりません。”公共交通に限らない”なら“民間”ということでしょうか？市民の移動の権利、人権を守るのは行政の役割ではないでしょうか？	宇治市公共交通体系基本計画において、公共交通を「不特定多数の誰もが対価を支払うことで利用できる移動手段」と位置付けており、これまでの公共交通を活用した事業だけでなく、槇島町紫ヶ丘地域での病院送迎バスを活用した高齢者買物移動支援事業を行うなど、公共交通に限らない移動手段を含む取組を行ってきたところです。 このような施策の他地域への活用について引き続き検討を進めるとともに、現在、公共交通に限らない移動手段も含め、将来の移動手段のあり方について検討を進めているところです。	基本目標5『未来を拓く都市基盤の整備』 ②移動しやすい交通環境の充実	無
79	植物公園の通路に➡の方向案内があれば嬉しいです	来園者には、植物公園内をご自由に鑑賞・散策いただければと考えておりますので順路は特に決めておりませんが、いただいたご意見については、今後の取組の参考にさせていただきます。	基本目標5『未来を拓く都市基盤の整備』 その他	無

その他

80	グラフの更新についてのご意見（3件）	各グラフについて、最新値に更新を行いました。	全体	有
----	--------------------	------------------------	----	---